

不動社の社務所の2階でふと見上げるとこの額が目に入りました。今回はこの詞を紹介します。



社務所 2階 2016年3月6日

なつかしふる里
不動滝

太田の上流 不動滝
流れる水の 清らかさ
小鳥が呼んでるこだまする
鳥のさえずり 心がなごむ
めぶく木の芽が美しい

ふじの花咲く 不動滝
ここは良いところ 真座敷
涼しき最高 セミの唄
めばえる夢がよく見える
ふる里 なつかしい滝姿

季節折々 変化滝
風雪の時も 通った道
笑顔の友は いまいずこ
勇気 希望 夢を
ありがとう 不動滝

平成二十一年二月
詞 佐藤 遊里、

編集後記 竹之高地を見る

竹之高地の戸数は戦前戦後にわたって60戸という線で、ほとんど増減はなかったが、昭和40年頃になって多少離村の傾向が見られるようになりました。といっても、周辺の村々からみればそれはほんの僅かな傾向でした。

毎年3メートル余の豪雪を見、どんづまりと傾斜という谷間の地形のため昭和41年にやっと小型自動車が入れる林道ができた、というほど気候的にも地形的にも、そしてそうした条件からくる経済的な不利・不便な面の多い環境でありながら、部落の戸数がそれほど減少しなかったのは、それなりの要因があったのでしょう。部落生活における固い結束、相互扶助の意識の高さなど部落共同体の性格の強さが部落を支える条件になっていたからだと思います。竹之高地には「組」「縁故親戚」「アタリ」「五人組」という縦横を結ぶつながり（連帯）が存在しており、これが部落共同生活の基盤となっていたと思われまます。

昭和40年代初めに自動車を通れる道路が出来てからは、離村が一気に進みました。中越大地震時には年寄り夫婦だけの11戸、20余名の人口となっていた。大震災の翌年にはほとんどの家屋が解体されてしまいました。現在は家屋は8軒、住人は2名です。一つの町内としては成り立たなくなりました。長岡市は行政の上では「竹之高地町」を除外してしまいました。

何百年もこの土地に住んだ人たちが愛くしんだ山や川、田畑の姿は大きくは変わっていません。竹之高地がみんなで集える場所となり、住民が戻って生活できるように願って、市内に引越した元住人及び農作業グループと協力して、竹之高地で色々な活動をしています。不動社拝殿の移築をし、不動社の伝統行事（不動社大祭、百八灯、盆踊り）を復活しました。秋には東山で栽培したそばで「そば祭り」を開催し、竹之高地に集う多くの人たちの交流の場となっています。

中越大地震以後竹之高地の復興に中心的な活動してきた人たちも徐々に引退し、活動に参加している人たちも歳を重ねるだけとなっています。現状の活動を維持していくことがいかに難しいか考えるこのごろです。

竹之高地だよりホームページをリニューアルしました。

2016年2月にホームページをリニューアルしました。

いままでバラバラだった「竹之高地だよりホームページ」「竹之高地町同友会ブログ」「山歩きブログ」の3つを「竹之高地だよりホームページ」に集約し、ひとつにしました。

「竹之高地町同友会ブログ」で更新していた内容は「町内活動」と「会議報告」の項目で引き続き更新します。また、「山歩きブログ」での更新内容は「管理人の山歩き」で更新しています。

今回のリニューアルでより見やすく、より竹之高地の今を身近に感じていただけるようになりました。ぜひ、一度ホームページをご覧ください。スマートフォンでもご覧になれます。

ホームページアドレス：<http://takenokoti.com/>



竹之高地だより

平成28年
4月号
2016年4月1日

竹之高地町同友会
代表 原 義一
〒940-1123
長岡市竹之高地町
不動社社務所内

早春の竹之高地

春が来た

竹之高地入口での積雪が50cm以下(3/27現在)となりました。晴れて暖くなった今日は続々と竹之高地に人々が訪れました。元住人のお年寄りが久しぶりに山に来て「ほーきんと」を採って大喜びでした。

3/26には『あつきな』を少々収穫し、初物を食しました。春の山菜の時期に突入となります。

3/30には『富所』跡地で水芭蕉を見つけました。山に入ってはヤマ桜が咲いているのを見つけ、カタクリが咲き、山菜も「ほーきんと」「あさつき」「あつきな」が採れ始めています。雪解けが進み、平年より1ヶ月近くも早い春が来ました。

右の写真は 03/27不動社前より「コブキロ」方面を撮影。



2016-03-30 ヤマ桜 開花



2016-03-30 水芭蕉



2016-03-21 まんさくの花

早春の不動滝

早春の風物詩

竹之高地に春を告げる物の一つが不動滝のこの姿です。

早春の昼下がり、気温が上がり大量の雪解け水が不動滝を轟音とともに落ちます。豪快なこの音と水しぶきが南風に吹かれて滝の上まで上がってきます。

夜から朝にかけて水量は減りますが気温の上昇とともに水かさは増えていきます。見ごたえはあります。

不動滝はむかしより鯉が滝を登り、龍となり昇天し、皆様の願いを叶えてくれるといわれています。



2016-03-06 龍神への道

この時期の朝には滝を登る鯉の姿が見えて、昼ころからこの鯉が天に昇る龍の姿に変化してゆきます。先人がこの変化を見て『竜神の滝』と呼んだと思われます。

また冬季間、蓬平の高龍神社を過ぎると不動滝までの約800mの道路に消雪のために水を流しています。道路幅いっぱいのこの水が、道路表面を均一に流れてさざ波のようにきます。これを見て感動し『龍神の道』と呼ぶ人もいます。



2016-03-06 不動滝

今年度の行事予定

2016年度

■ 2016年

5月の行事

- ・ 5月中旬. 水利の点検

6月の行事

- ・ 6月12日(日) . . . 第1回 道普請
町内の山道の草刈・整備を行います。朝8時から夕方4時すぎまでの作業です。草刈り機は持ち寄りですが10台ほどの予備機もあります。昼食は主催者が準備します。



道普請の朝 出陣式

- ・ 6月下旬. 【農作業】あわの種まき、ネギの定植
東山農園にあわの種まきをし、ネギの定植をします。あわとネギは秋に開催されるそば祭りに使います。

7月の行事

- ・ 7月10日(日) . . . <不動社>滝開き
暑い夏が来る前に、不動滝の『滝開き』を執り行います。不動社にて神事行い、お祓いをしたあと参加者は不動滝の滝壺に入り、『滝行』として滝に打たれて煩惱を払います。近年は男性に混じり若い女性も参加しています。



不動滝 滝行

- ・ 7月下旬. 【農作業】そばの種まき、ネギの中間管理
夏の暑い中7月末にそばの種まきを行います。

8月の行事

- ・ 8月 7日(日) . . . 第2回 道普請
- ・ 8月27日(土) . . . <不動社>夏の百八灯、盆踊り
不動社の祭りの前夜祭として百八灯と奉納盆踊りを行います。元来27日の行事でしたが、今は直前の土曜日としています。



盆踊り

- ・ 8月28日(日) . . . <不動社>夏季大祭
午前10時30分 神事開始

9月の行事

- ・ 【農作業】あわ刈りおよび乾燥
あわを刈取り、乾燥します。干す場所は不動様の西側の軒です。雨にあたらなく、風が強くない場所としてここに決まりました。



あわのハサ掛け

10月の行事

- ・ 【農作業】そば刈りおよび乾燥・脱穀
そばは種まきから75日ほどで収穫します。自然乾燥し、脱穀、粉引きをして、11月はじめの新そば祭りに間に合わせます。

11月の行事

- ・ 【農作業】あわの脱穀、ネギの収穫
- ・ 11月初旬. [まほろの会] 新そば祭り
そばを作ってきた人たちを中心に約100食のそばを作ります。山で採れた野菜を天ぷらにして、薬味としてネギ他を添えて食べます。風味豊かな十割そばは好評です。



新そば盛り付け

- ・ 11月下旬. 各所の水利点検

12月の行事

- ・ 12月下旬. 冬囲い、後片付け
- ・ 12月31日(土) . . . <不動社>大晦日、2年参り
2年参りの対応に31日夜10時から元旦の2時頃まで守役がいます。



不動社 融雪池準備完了

■ 2017年

1月の行事

- ・ 1月 1日(日) . . . <不動社>初詣
1日、2日、3日は守役がいます。

2月の行事

- ・ 2月下旬. <不動社>冬の百八灯
百八灯は、当日午後より準備夕方6時から神事行列が始まります。2007年より現在の形式のにしてから第11回目の行事となりました。
2月18日(土) または25日(土)



百八灯 開祖の碑

- ・ 2月28日(火) . . . <不動社>春季大祭
午前10時30分 神事開始

3月の行事

- ・ 未定. そば打ち体験会
秋に竹之高地で採れた風味豊かなそば粉を使用し、セミプロから習って、自分で打ったそばを食べてみましょう。



そば打ち体験会

- ・ 3月26日(日) . . . 竹之高地町同友会決算総会
午前10時から
不動社社務所2階にて